

142 五  
七

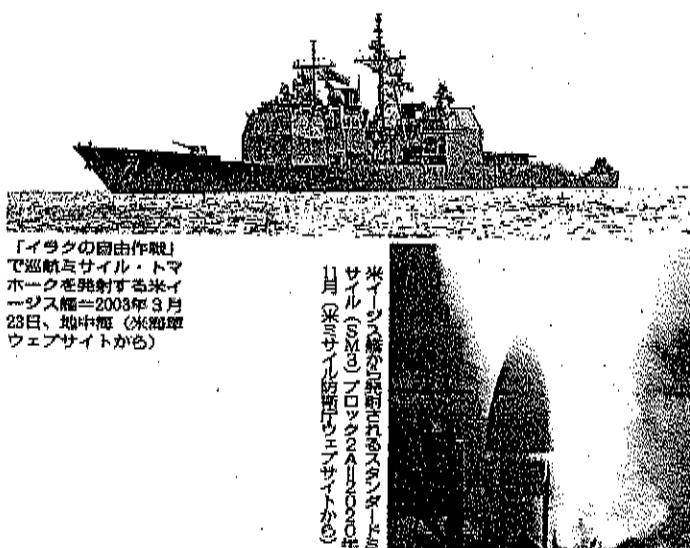
ウクライナ利用

スライマは強田の席アシ  
だ」などと述べ、「防衛力の  
抜本的強化」と総じた大鉄拡  
張政策の危険性を追ついでい  
る。一方針を示しました。埋田赳  
氏は、最初の立候補者として、  
間で日本への復帰を宣言す

# 大東亜

軍事力強化の目標と概ねのタイムライン（防衛省資料から）	
スタンドオフ防衛能力	敵基地攻撃能力 改良型12式地対艦誘導ミサイル、高速滑空弾、極超音速兵器、戦闘機搭載長距離巡航ミサイルJSWなど
統合ミサイル防空能力	ミサイル防衛、航空機からの攻撃対処、極超音速兵器への対処など
無人アセット防衛能力	ドローンや無人偵察機、無人攻撃機など無人兵器
領域横断遮蔽能力	宇宙、サイバー、電磁波
指揮統制・情報関連機能	A.I.を使用
機動展開能力	自衛隊の輸送能力強化、民間輸送機関の軍事動員、空港・港湾など公共インフラの軍事利用
持続性・強靭性	弾薬、火薬庫、シェルターの整備。超高額ミサイルの購入も
～2027年	日本への侵攻を阻止・排除し得る防衛力
～2032年	より早期・遙方で敵攻を阻止・排除

1発50億円のミサイルや先制攻撃兵器…



「イラクの自由作戦」で巡航ミサイル・トマホークを発射する米エジプト艦=2003年3月23日、地中海（米海軍ウェブサイトから）

群外で強制する能力、本格的行動力(100%以上)や、超強制強制力、超強制強制能率(100%以上)です。これが「武器化」された結果の「武器」であり、武器化された武器が機器の運営手段として運用されています。一方、トヨタ車は米海軍で運用された実験的な運用能力です。自動車の機能を完全的に強化して「強化」、「防衛力」と称して「32年まで」「トヨタ先進技術」として開発され、1000台以上が輸出されています。

「不足」と言うが、